

# モニタリング結果報告書 (令和6年度)

## 1. 施設概要

施設名	21世紀の森		
所在地	南足柄市内山2870-5		
サイトURL	<a href="http://k-mask.jp/21/">http://k-mask.jp/21/</a>		
根拠条例	神奈川県立21世紀の森条例		
設置目的(設置時期)	森林及び林業に関する知識の普及及び向上並びに林業の振興を図り、併せて県民の保護及び休養に資する（昭和58年4月設置）		
指定管理者名	株式会社 アグサ		
指定期間	R3.4.1～R8.3.31 (2021年)～(2026年)	施設所管課 (事務所)	森林再生課

## 2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応			
「利用状況」がB評価、「利用者の満足度」がS評価、「収支状況」がA評価となり、3項目評価はAとした。 維持管理については、年間を通して円滑な維持管理の運営がなされている。 利用者数については、台風10号による土砂の流出等に伴う臨時閉館等の影響により昨年と比べて減少した。 今後、引き続き広報活動の充実に向けた取組を進めることで、更なる利用者数の拡大に努めるとともに、経費節減のため、より効率的な運営に努めてもらいたい。			
<各項目の詳細説明>			
◆管理運営等の状況 提案に基づいて、施設・設備の維持管理業務を適切に実施した。その中でも、集団樹木や林道等の維持管理業務においては、大雨に伴って発生した土砂の撤去について、駐車場など指定管理者の分担となっている箇所は早期に対応するとともに、県の分担となっている被害箇所についても実施まで通行止めとしたり、被害状況を報告するなど協力に努めた。また、対応可能な範囲の倒木等の処理等を行ったりするなど、利用者の安全確保や施設の美観の確保に努めた。			
◆利用状況 パンフレットやチラシの配布、インスタグラムの運営など、広報活動に取り組んだものの、上記のとおり土砂崩れによる一部の利用制限等の影響を受け、目標達成率は98.5%となり、B評価となった。引き続き、広報活動や団体の受入等の更なる充実に取り組んでもらうとともに、今後とも災害発生時には早期の対応協力に努めてもらいたい。			
◆利用者の満足度 毎月実施しているアンケートでは、上位2段階の回答割合が、100%となりS評価となった。			
◆収支状況 事業計画に沿った運営を行い、指定管理料の範囲内で良好に執行されており、収支比率が101.38%となりA評価となった。			
◆苦情・要望等 苦情・要望等はなかった。			
◆事故・不祥事等 事故・不祥事等はなかった。			
◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。			

### 3. 3項目評価の結果

3項目評価	利用状況 (項目6参照)	利用者の満足度 (項目7参照)	収支状況 (項目8参照)	3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう。
A	B	S	A	S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要

### 4. 定期・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	
現地調査等 の実施状況	実施頻度	現地調査等の内容
	毎月実施	指定管理者から提出された書類の記載内容と現地の状況を照合した結果、適切に指定管理業務等が履行されていることを確認した。
意見交換等 の実施状況	実施頻度	意見交換等の内容
	毎月実施	事業計画書の進捗状況について相互で確認した。
随時モニタリングにおける 指導・改善勧告等の 有無	有・無	指導・改善勧告等の内容

## 5. 管理運営等の状況

### 〔 指定管理業務 〕

事業計画の主な内容	実施状況等	実施状況に関するコメント
<p><b>【施設の維持管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来場者に美観・景観を提供するためエリアを踏まえた維持管理を行う。</li> <li>・整理整頓と清潔さなどの美観を確保する。</li> <li>・季節や環境状況に応じてメリハリをつけた整備を行う。</li> <li>・県民の利用、森林保全や林業研修がしやすいように、散策路や作業道の整備等を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常点検や日常清掃及び定期清掃を計画のとおり実施し、清潔できれいな環境を維持した。</li> <li>・草刈り、剪定、枝打ち等を実施した。</li> <li>・散策路や作業道の不具合箇所を早期に発見し、土砂の除去や、指定管理者で対応可能な範囲の倒木や危険木等の処理等を行った。</li> <li>・落ち葉清掃、側溝清掃等を適宜実施した。</li> </ul>	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
<p><b>【安全・管理】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所及び破損箇所の抽出を行う。</li> <li>・危険生物とその生息環境を除去する。</li> <li>・木工工具や機械の手入れを行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理地内を定期的に見回つて、毎月、危険箇所を抽出して適宜、整備した。</li> <li>・草刈等を実施し、ヤマビルの生息環境を除去するなど、危険生物の除去に努めた。</li> <li>・木工工具等の備品を定期的に点検した。</li> </ul>	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
<p><b>【利用促進】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシやパンフレットの作成配布等による広報を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンフレットの更新・配架に加え、様々な媒体に掲載を依頼するなどの広報に努めた。</li> <li>・インスタグラムの運営等の新たな取組も行った。</li> </ul>	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然環境見識者との連携による事業、林業研修等の普及に関する支援、県立高校等の生徒に対する林業の啓発活動、「未病の改善」として健康増進プログラム、出張木工指導について、推進・実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・提案に基づいて、中学校への出張木工教室を実施するとともに、指定管理者の管理する他の施設との連携を深めて情報発信を行った。</li> </ul>	月例報告により確認しており、全体としては提案のとおり適切に行われている。
<p><b>【環境への配慮】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ・LEDの採用、間伐材の有効利用などの取組、利用者への啓発等の取組も実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・間伐材の有効利用として、木工教室の材料として使用したり、ペレットストーブによる啓発活動に活用した。</li> </ul>	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。
<p><b>【地域との連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体等と森林の手入れ作業等で連携・協力をしており、今後も交流・連携の促進を図る。</li> <li>・地域団体や地域住民との協力体制を深めており、更なる体制の構築を図っていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かながわトラストみどり財団等と連携して事業を実施し、自主事業等でも連携を促進している。</li> </ul>	月例報告により確認しており、提案のとおり適切に行われている。

[ 参考：自主事業 ]

事業計画の主な内容	実施状況等
森林及び自然観察の場の提供、森林及び林業に関する知識の普及・向上並びに林業の振興を図り、県民の保健及び休養に資することを踏まえ、イベントを定期的に実施する。	・自然観察会（3回・26名） ・未病対策プログラム（1回・7名） ・木工体験（7回・58名） ・森林文化体験（5回・81名） を実施した。
森林や県産材への理解を深め、親しみを感じてもらうオープンイベントを実施する。	「21世紀の森まつり」を実施し、地元の団体などの参加も受け、森や木に親しむイベントを実施した。（198名）
施設までの公共交通機関の利便性が悪いため、利用者に対して必要に応じて送迎を実施する。	イベント開催時に送迎を行い、7人の利用があった。

6. 利用状況

評価	『評価の目安』 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B： 85%以上～100%未満 C：85%未満 ※施設の特性から利用状況の評価を行わない場合は「目標値の設定根拠」欄に当該理由を、「目標値」欄に代わりとなる数値（定員数等）を記載してください（女性自立支援施設と県営住宅等が該当）。
B	

	前々年度	前年度	令和6年度
利用者数※	34,389	43,573	40,863
対前年度比		126.7%	93.8%
目標値	40,500	41,000	41,500
目標達成率	84.9%	106.3%	98.5%

目標値の設定根拠： 事業計画書（提案書）

利用者数の算出方法（対象）： 10時13時15時の駐車台数に、普通乗用車1台に対して4名等、一定の人数をかけて算出

※原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

<備考>
------

## 7. 利用者の満足度

評価	『評価の目安』 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う。
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	簡易アンケート：随時 詳細アンケート：年1回	上位2段階の評価は、前年同様高水準を維持しており、適正な運営が行われているものとみられる。

### [ サービス内容の総合的評価 ]

質問内容	施設管理に対する満足度について			総合について	
実施した調査の配布方法	利用者に配布・ 施設に配架	回収数／配布数	147	／	363 = 40.5%
配布(サンプル)対象	利用者				
サービス内容の総合的評価の回答数	満足	どちらかといえど満足	どちらかといえど不満	不満	合計
サービス内容の総合的評価の回答数	88	59	0	0	147
回答率	59.9%	40.1%	0.0%	0.0%	
前年度の回答数	120	58	0	0	178
前年度回答率	67.4%	32.6%	0.0%	0.0%	
回答率の対前年度比	89%	123%	0%	0%	

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

<備考>
------

## 8. 収支状況

評価	『評価の目安：収支差額の当初予算額が0円の施設』 収入合計／支出合計の比率が、S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
A	

[ 指定管理業務 ]

(単位:千円)

		収入の状況					支出の状況	収支の状況
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入 の主な内訳	収入合計		
前々 年度	当初 予算	33,281	150	0	0	33,431	33,431	0
	決算	33,281	47	0	0	33,328	32,564	764
前 年 度	当初 予算	33,271	160	0	0	33,431	33,431	0
	決算	33,271	60	0	0	33,331	33,511	-180
令 和 6 年 度	当初 予算	33,261	170	0	0	33,431	33,431	0
	決算	33,261	61	0	0	33,322	32,870	452

※支出に納付金が含まれる場合、その内数

(単位:千円)

令和6年度 /

前年度 /

前々年度 /

<備考>

9. 苦情・要望等  該当なし

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件		
	件		
職員対応	件		
	件		
事業内容	件		
	件		
その他	件		
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

10. 事故・不祥事等  該当なし

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事について改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

11. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。